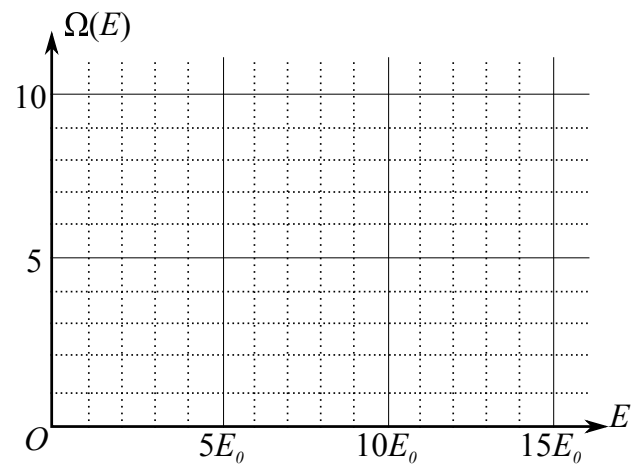


**中間試験 1** 1 から 35 の目が均等に出るサイコロを 1 つ投げる. 出た目の 2 乗を確率変数  $\hat{f}$  とするとき, 期待値  $\langle \hat{f} \rangle$  を求めなさい. 必要であれば,  $\sum_{i=1}^n i^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)$  を用いなさい.

**中間試験 2** エネルギー固有値が  $E_{(n_x, n_y)} = E_0 (n_x^2 + n_y^2)$  (ただし,  $n_x$  と  $n_y$  はともに自然数,  $E_0$  は正の定数) で表されるとき, 状態数  $\Omega(E)$  を  $0 \leq E \leq 15E_0$  についてグラフに表しなさい.



**中間試験 3** ある孤立系の状態数が  $\Omega(E) = 10^{(E/E_0)^3}$  で表されるとする. 系のエネルギーが  $3E_0$  であるとき, エネルギー固有状態  $i$  が実現する確率  $p_i$  を近似的に求めなさい. ここでは, エネルギー固有値  $E_i$  が  $2E_0 < E_i < 3E_0$  を満たすエネルギー固有状態  $i$  は共通のマクロな性質を持つと考えなさい.

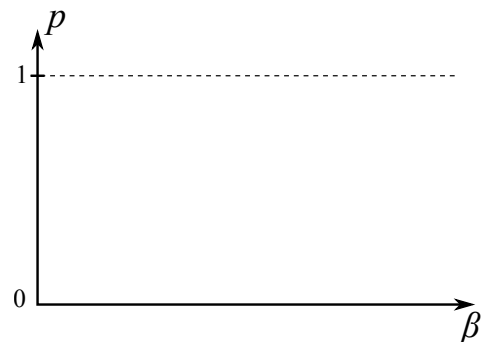
**中間試験 4** 単原子分子理想気体 (原子の質量  $M$ , 体積  $V$ , 粒子数  $N$ , 逆温度  $\beta$ ) について, 低密度では分配関数が  $Z = \frac{V^N}{N!} \left( \frac{2\pi M}{\beta h^2} \right)^{3N/2}$  (ただし,  $h$  はプランク定数) で表される. このとき, 理想気体の状態方程式を導出しなさい. なお, 圧力が  $p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z$  と表されることは既知とし, ボルツマン定数を  $k_B$  としなさい.

**中間試験 5** ヘルムホルツの自由エネルギー  $F$  について, 次の問いに答えなさい. 以下では,  $\beta$  が逆温度,  $V$  が体積,  $Z$  が分配関数,  $U$  が内部エネルギー,  $T$  が絶対温度を表すものとしなさい.

- (1) 熱力学では, 圧力  $p$  は  $p = -\frac{\partial F}{\partial V}$  と表される. 圧力の表式  $p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z$  を踏まえ,  $F$  を  $\beta$  と  $Z$  を用いて表しなさい.
- (2) 熱力学では, エントロピー  $S$  は  $S = -\frac{\partial F}{\partial T}$  と表される.  $S = \frac{U - F}{T}$  を満たすことを示しなさい. ただし, 内部エネルギーが  $U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$  と表されることは既知としなさい.

**中間試験 6** 温度が一定 (逆温度  $\beta$ ) で磁場  $\vec{H} = (0, 0, H)$  (ただし,  $H > 0$ ) のある空間に, 電子が一つ固定されている. 電子はスピンと呼ばれる固有の角運動量を有しており,  $z$  方向を向く状態 (「状態 +」と呼ぶ) と,  $-z$  方向を向く状態 (「状態 -」と呼ぶ) の二つがエネルギー固有状態である. また, エネルギー固有値は, 磁気モーメント  $\mu_0$  (ただし,  $\mu_0 > 0$ ) を用いて, 状態 + では  $E_+ = -\mu_0 H$ , 状態 - では  $E_- = \mu_0 H$  と表される.

- (1) 分配関数  $Z$  を求めなさい.
- (2) 状態 + に対応する確率を  $p_+$ , 状態 - に対応する確率を  $p_-$  と表す.  $p_+$  と  $p_-$  を求めなさい.
- (3)  $\beta \rightarrow 0$  と  $\beta \rightarrow \infty$  について,  $p_+$  と  $p_-$  の値を求めなさい.
- (4)  $\beta$  に対して,  $p_+$  は単調増加,  $p_-$  は単調減少することを示しなさい.
- (5)  $p_+$  と  $p_-$  を, 横軸を  $\beta$  とするグラフで表しなさい. ただし,  $\beta > 0$  について  $\frac{\partial^2 p_+}{\partial \beta^2} < 0$ ,  $\frac{\partial^2 p_-}{\partial \beta^2} > 0$  であることは既知としなさい.
- (6) 系の内部エネルギー  $U$  を求めなさい.



**中間試験 7** カノニカル分布に関して、次の問いに答えなさい。以下では、 $Z$  が分配関数、 $k_B$  がボルツマン定数、 $\beta$  が逆温度、 $T$  が絶対温度を表すものとしなさい。

- (1) エネルギー固有値の期待値  $\langle \hat{H} \rangle$  を計算することにより、内部エネルギーの表式  $U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$  を導出  
しなさい。
- (2) 内部エネルギーのゆらぎの表式  $\sigma = \sqrt{\frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z}$  を導出しなさい。
- (3) 比熱は  $C = \frac{\partial U}{\partial T}$  により定義される。  $C$  を  $k_B$ ,  $T$ ,  $\sigma$  を用いて表しなさい。

# 解答例

統計力学 (2018 年度 : 鳴海)

番号:

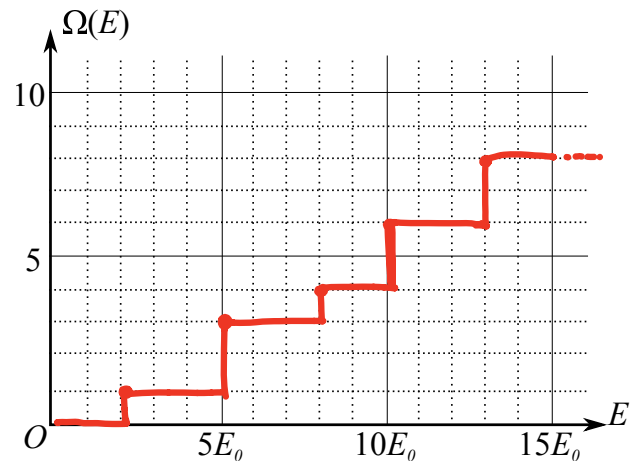
名前:

**中間試験 1** 1 から 35 の目が均等に出るサイコロを 1 つ投げる. 出た目の 2 乗を確率変数  $f$  とするとき, 期待値  $\langle f \rangle$  を求めなさい. 必要であれば,  $\sum_{i=1}^n i^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)$  を用いなさい.

$$\langle f \rangle = \sum_{i=1}^{35} i^2 p_i = \frac{1}{35} \cdot \frac{1}{6} \cdot 35 \cdot 36 \cdot 71 = 6 \cdot 71 = 426 //$$

**中間試験 2** エネルギー固有値が  $E_{(n_x, n_y)} = E_0 (n_x^2 + n_y^2)$  (ただし,  $n_x$  と  $n_y$  はともに自然数,  $E_0$  は正の定数) で表されるとき, 状態数  $\Omega(E)$  を  $0 \leq E \leq 15E_0$  についてグラフに表しなさい.

$n_x$	$n_y$	$E$
1	1	$2E_0$
1	2	$5E_0$
2	1	$5E_0$
2	2	$8E_0$
1	3	$10E_0$
3	1	$10E_0$
2	3	$13E_0$
3	2	$13E_0$
3	3	$18E_0$
$\vdots$		$\vdots$



**中間試験 3** ある孤立系の状態数が  $\Omega(E) = 10^{(E/E_0)^3}$  で表されるとする. 系のエネルギーが  $3E_0$  であるとき, エネルギー固有状態  $i$  が実現する確率  $p_i$  を近似的に求めなさい. ここでは, エネルギー固有値  $E_i$  が  $2E_0 < E_i < 3E_0$  を満たすエネルギー固有状態  $i$  は共通のマクロな性質を持つと考えなさい.

$$\Omega(3E_0) = 10^{27}, \quad \Omega(2E_0) = 10^8$$

よて  $2E_0 < E_i < 3E_0$  となる状態の数は

$$\Omega(3E_0) - \Omega(2E_0) = 10^{27} - 10^8 \doteq 10^{27}.$$

よて等重率の原理より

$$p_i = \begin{cases} \frac{1}{10^{27}} & (2E_0 < E_i < 3E_0) \\ 0 & (\text{それ以外}) \end{cases} //$$

**中間試験 4** 単原子分子理想気体 (原子の質量  $M$ , 体積  $V$ , 粒子数  $N$ , 逆温度  $\beta$ ) について, 低密度では分配関数が  $Z = \frac{V^N}{N!} \left( \frac{2\pi M}{\beta h^2} \right)^{3N/2}$  (ただし,  $h$  はプランク定数) で表される. このとき, 理想気体の状態方程式を導出しなさい. なお, 圧力が  $p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z$  と表されることは既知とし, ボルツマン定数を  $k_B$  としなさい.

$$p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log \left[ \frac{V^N}{N!} \left( \frac{2\pi M}{\beta h^2} \right)^{3N/2} \right] = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log V^N = \frac{N}{\beta V}$$

ここで  $\beta = \frac{1}{k_B T}$  より  $p = \frac{k_B T N}{V} \Leftrightarrow pV = Nk_B T$   $\blacksquare$

**中間試験 5** ヘルムホルツの自由エネルギー  $F$  について, 次の問いに答えなさい. 以下では,  $\beta$  が逆温度,  $V$  が体積,  $Z$  が分配関数,  $U$  が内部エネルギー,  $T$  が絶対温度を表すものとしなさい.

- (1) 熱力学では, 圧力  $p$  は  $p = -\frac{\partial F}{\partial V}$  と表される. 圧力の表式  $p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z$  を踏まえ,  $F$  を  $\beta$  と  $Z$  を用いて表しなさい.
- (2) 熱力学では, エントロピー  $S$  は  $S = -\frac{\partial F}{\partial T}$  と表される.  $S = \frac{U - F}{T}$  を満たすことを示しなさい. ただし, 内部エネルギーが  $U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$  と表されることは既知としなさい.

$$(1) \quad p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z = -\frac{\partial}{\partial V} \left( -\frac{1}{\beta} \log Z \right) \text{ より } F = -\frac{1}{\beta} \log Z \text{ ,,}$$

$$(2) \quad S = -\frac{\partial F}{\partial T} = \frac{\partial}{\partial T} \left( \frac{1}{\beta} \log Z \right) = \left\{ \frac{\partial}{\partial T} \left( \frac{1}{\beta} \right) \right\} \log Z + \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial T} \log Z$$

$$= k_B \log Z + \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial T} \log Z \quad \dots \textcircled{*}$$

∴

$$\frac{\partial}{\partial T} = \frac{\partial \beta}{\partial T} \cdot \frac{\partial}{\partial \beta} = \left\{ \frac{\partial}{\partial T} \left( \frac{1}{k_B T} \right) \right\} \cdot \frac{\partial}{\partial \beta} = -\frac{1}{k_B T^2} \frac{\partial}{\partial \beta} = -\frac{\beta}{T} \frac{\partial}{\partial \beta} \text{ より,}$$

$$\textcircled{*} = \frac{\frac{1}{\beta} \log Z}{T} - \frac{\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z}{T} = \frac{-F}{T} - \frac{-U}{T} = \frac{U - F}{T} \quad \blacksquare$$

**中間試験 6** 温度が一定 (逆温度  $\beta$ ) で磁場  $\vec{H} = (0, 0, H)$  (ただし,  $H > 0$ ) のある空間に, 電子が一つ固定されている. 電子はスピンと呼ばれる固有の角運動量を有しており,  $z$  方向を向く状態 (「状態 +」と呼ぶ) と,  $-z$  方向を向く状態 (「状態 -」と呼ぶ) の二つがエネルギー固有状態である. また, エネルギー固有値は, 磁気モーメント  $\mu_0$  (ただし,  $\mu_0 > 0$ ) を用いて, 状態 + では  $E_+ = -\mu_0 H$ , 状態 - では  $E_- = \mu_0 H$  と表される.

- (1) 分配関数  $Z$  を求めなさい.
- (2) 状態 + に対応する確率を  $p_+$ , 状態 - に対応する確率を  $p_-$  と表す.  $p_+$  と  $p_-$  を求めなさい.
- (3)  $\beta \rightarrow 0$  と  $\beta \rightarrow \infty$  について,  $p_+$  と  $p_-$  の値を求めなさい.
- (4)  $\beta$  に対して,  $p_+$  は単調増加,  $p_-$  は単調減少することを示しなさい.
- (5)  $p_+$  と  $p_-$  を, 横軸を  $\beta$  とするグラフで表しなさい. ただし,  $\beta > 0$  について  $\frac{\partial^2 p_+}{\partial \beta^2} < 0$ ,  $\frac{\partial^2 p_-}{\partial \beta^2} > 0$  であることは既知としなさい.
- (6) 系の内部エネルギー  $U$  を求めなさい.

$$(1) Z = \sum_i e^{-\beta E_i} = e^{-\beta E_+} + e^{-\beta E_-} = e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H} \quad "$$

$$(2) P_+ = \frac{e^{-\beta E_+}}{Z} = \frac{e^{\beta \mu_0 H}}{e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H}}, \quad P_- = \frac{e^{-\beta E_-}}{Z} = \frac{e^{-\beta \mu_0 H}}{e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H}} \quad "$$

$$(3) \beta \rightarrow 0 \text{ のときは } P_+ = P_- = \frac{1}{2}.$$

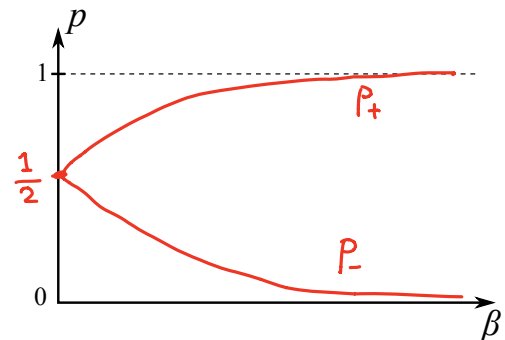
$$\beta \rightarrow \infty \text{ のときは } P_+ = \frac{1}{1 + e^{-2\beta \mu_0 H}} \rightarrow 1, \quad P_- = \frac{e^{-2\beta \mu_0 H}}{1 + e^{-2\beta \mu_0 H}} \rightarrow 0.$$

$$(4) \frac{\partial P_+}{\partial \beta} = \frac{2\mu_0 H e^{-2\beta \mu_0 H}}{(1 + e^{-2\beta \mu_0 H})^2} > 0. \text{ よって } P_+ \text{ は単調増加.}$$

$$\frac{\partial P_-}{\partial \beta} = \frac{-2\mu_0 H e^{-2\beta \mu_0 H}}{(e^{2\beta \mu_0 H} + 1)^2} < 0. \text{ よって } P_- \text{ は単調減少.}$$

$$(5) (3) \text{ と } (4) \text{ の結果と } \frac{\partial^2 P_+}{\partial \beta^2} < 0,$$

$$\frac{\partial^2 P_-}{\partial \beta^2} > 0 \text{ を踏まえると右のようになる,$$



$$(6) U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$$

$$= -\frac{\partial}{\partial \beta} \log(e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H})$$

$$= -\frac{e^{\beta \mu_0 H} - e^{-\beta \mu_0 H}}{e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H}} \mu_0 H \quad "$$

※期待値の定義から  
計算することもできる.

**中間試験 7** カノニカル分布に関して、次の問いに答えなさい。以下では、 $Z$  が分配関数、 $k_B$  がボルツマン定数、 $\beta$  が逆温度、 $T$  が絶対温度を表すものとしなさい。

- (1) エネルギー固有値の期待値  $\langle \hat{H} \rangle$  を計算することにより、内部エネルギーの表式  $U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$  を導出しなさい。
- (2) 内部エネルギーのゆらぎの表式  $\sigma = \sqrt{\frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z}$  を導出しなさい。
- (3) 比熱は  $C = \frac{\partial U}{\partial T}$  により定義される。  $C$  を  $k_B$ 、 $T$ 、 $\sigma$  を用いて表しなさい。

$$(1) U = \langle \hat{H} \rangle = \sum_i E_i p_i = \sum_i E_i \frac{e^{-\beta E_i}}{Z} \dots \textcircled{*}$$

$$\text{ここ} \quad \frac{\partial}{\partial \beta} e^{-\beta E_i} = -E_i e^{-\beta E_i} \text{ なのて、}$$

$$\textcircled{*} = -\frac{1}{Z} \frac{\partial}{\partial \beta} \sum_i e^{-\beta E_i} = -\frac{1}{Z} \frac{\partial Z}{\partial \beta} = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z \quad \blacksquare$$

$$(2) \langle \hat{H}^2 \rangle = \sum_i E_i^2 p_i = \sum_i E_i^2 \frac{e^{-\beta E_i}}{Z} = \frac{1}{Z} \sum_i E_i^2 e^{-\beta E_i} \dots \textcircled{**}$$

$$\text{ここ} \quad \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} e^{-\beta E_i} = E_i^2 e^{-\beta E_i} \text{ なのて}$$

$$\textcircled{**} = \frac{1}{Z} \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \sum_i e^{-\beta E_i} = \frac{1}{Z} \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} Z$$

$$\text{よて} \quad \sigma^2 = \langle \hat{H}^2 \rangle - \langle \hat{H} \rangle^2 = \frac{1}{Z} \frac{\partial^2 Z}{\partial \beta^2} - \left( \frac{1}{Z} \frac{\partial Z}{\partial \beta} \right)^2 \dots \textcircled{*}$$

$$\text{また、} \quad \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z = \frac{\partial}{\partial \beta} \left( \frac{1}{Z} \frac{\partial Z}{\partial \beta} \right) = \frac{\partial Z'}{\partial \beta} \cdot \frac{\partial Z}{\partial \beta} + \frac{1}{Z} \frac{\partial^2 Z}{\partial \beta^2}$$

$$= -\frac{1}{Z^2} \frac{\partial Z}{\partial \beta} \cdot \frac{\partial Z}{\partial \beta} + \frac{1}{Z} \frac{\partial^2 Z}{\partial \beta^2} \text{ なのて } \textcircled{*} = \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z$$

$$\sigma > 0 \text{ ため } \sigma = \sqrt{\frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z} \quad \blacksquare$$

$$(3) C = \frac{dU}{dT} = -\frac{\beta}{T} \frac{dU}{d\beta} = +\frac{1}{k_B T^2} \frac{d^2}{d\beta^2} \log Z$$

$$\textcircled{\ominus} C = \frac{\sigma^2}{k_B T^2} \quad \text{,}$$